

令和6年度 瑞浪北中学校経営方針

(赤字は重点ポイント) 2024.4.1 校長

1

学校の教育目標 (教育を通じた普遍的・不変的・包括的な目標)

自ら学び 自ら鍛える

2

校訓 (学校教育目標の核・後ろ盾)

集中と継続

3

めざす学校 (学校としてのめざす姿)

地域と結びつく学校

4

令和6年度のキーワード (今年度の重点)

『たくましさ』を示す北中生

— 「継続」・「粘り」・「決断」による —

◇昨年度の『成長の実感』については、生徒アンケートにおいて、90%以上という高い割合を示した。特に行事(を核とした日常)においての『成長の実感』が大きかった。反面、目標設定、自分で考え行動すること、自分の苦手分野に立ち向かうこと、継続した家庭学習等についてはまだまだ弱さが露呈している。そこで、**1人でも、難しい状況でも、諦めずやってみること、続けることを包括する『たくましさ』**を求める。【指標：生徒アンケート 1,2学期末80%以上、学年末90%以上】

5

学校経営の重点

(指導の在り様とめざす姿)

一人ひとりに寄り添い、日常からの見届けと価値付け、タイムリーで的確なアドバイスにより、困難を乗り越え、姿で示すことができる生徒を育成する

(1) 自ら考え、求め、他と切磋琢磨する中で生きる力を育てる

【学習部】

学習指導	一人一人がじっくりと考え、求め、「わかった」「できた」が実感できる学習指導 【指標：生徒アンケート(主体的な授業姿勢・家庭学習の継続)：70%以上】
道徳教育	自己をじっくりと見つめる心と、他を深く思いやる心を育てる道徳指導
特別支援教育	一人一人の現状やニーズを明確にし、自立に必要な力を育てる特別支援教育
進路指導	常にキャリア教育の視点を意識し、自己を生かし伸ばす進路指導
人権教育	互いのよさを認め合い、自他の大切さを認めることができる人権教育
総合的な学習	環境に対する興味感心を高め、自分の考えをもち、よりよくしようとする意識を高める総合的な学習

(2) 自己決定による継続力・責任感を求め、『たくましさ』を育てる

【特活部】

生徒指導	自己判断力・実行力を高める生徒指導
学年・学級経営	一人ひとりの粘り強さ・力強さが表出する学年・学級経営 【指標：QU 学校生活意欲：90%以上(R5：84%)】
特別活動(行事)	困難や失敗、停滞状況に個・集団で立ち向かい、個の力・集団の凝集力を高める特別活動
生徒会活動	自治力を育み、まとまりや学校や地域への誇り・愛着を生み出す生徒会活動

(3) 報・連・相を徹底し、生徒の安全安心、命や身体を守ることを最優先する

【生健部】

保健安全	危機感と最悪事態のイメージを忘れず、生徒の笑顔を守る保健安全指導 (感染症・熱中症予防・ 防災対策 を肅々と行いながら、状況把握に基づき、迅速な措置をとる)
教育相談	迅速かつ親身な対応を心がけ、生徒の不安や悩みに寄り添う教育相談
環境整備	・日常的な整理整頓、週3回の清掃活動の充実による環境整備への意識高揚 ・ スーパーエコスクールとしての機能の有効活用 【指標：生徒アンケート(環境美化への意識・行動、スーパーエコスクールとしての自覚): 80%以上】

(4) 地域の一員としての自覚を高め、主体的な地域連携ができる生徒を育てる

【全職員】

地域連携	・主体的な地域との連携による地域の一員としての自覚の向上 ・ CS・地域学校協働活動の円滑な運営 【指標：生徒アンケート(地域への愛着度): 80%以上、学校運営協議会委員アンケート(生徒の地域への貢献度): 70%以上】
------	---

6 経営の基盤（教師の在り様）

(1) 特支、教育相談、生徒指導の観点

- ① 報・連・相を徹底し、全ての教育活動、生徒理解や事案の対応に（特支→教相→生指の観点をもち、）組織として取り組む。
- ③ 生徒の成長のことを第一として、温かさや厳しさの両面を兼ね備えた職員集団を目指す。

(2) 保護者や地域との信頼関係の構築

- ① 常に最悪の事態を想定し、「目の前にしている生徒にとってどうか。」を全ての判断基準とし、**生徒の安全安心、命や体を最優先**する。
- ② 保護者や地域からの相談や情報提供については、即日対応・確実対応を常とする。
- ③ 学校生活における生徒の情報を詳細に記録し、保護者に提供する。（伝えるべきことは臆せずに伝えていく。）
- ④ 地域と良好な関係を築き、（北中は5地区に）支えられているという意識をもって指導にあたる。

(3) 教科の専門家として知識や技能を十分に有し、その本質に基づく魅力的な授業の創造

- 瑞浪市教育指導の方針と重点 モットー『授業で子どもを変える 授業で学校を変える』
- ① 過去の実践の繰り返しではなく、生徒の意欲や関心を引き出す「魅力的な教材開発、指導過程や指導方法の大胆な工夫」をする。（課題設定のあり方、**個人追究の有効的な位置付け**、課題の文言へのこだわり）
 - ② 授業に動きや形態の変化を取り入れ、学習に向かう生徒たちに楽しさと勢いを与える。

(4) 社会人としての常識やマナーを兼ね備えた職員集団

- ① **ハラスメントのない・許さない職場**するため、一人ひとりが意識するとともに、万が一の場合は**ためらわずに進言**する。誰もが元気で、思い切り取り組むことができる職場にする。
- ② 温かい言葉遣いや素早く丁寧な対応、美しい環境づくりを自ら実践し、保護者の信頼を集めることができる。（来校者・電話対応も同様）
- ③ 共通理解の弱さや独断による方向性の相違を生み出さないよう、スタート地点の共通理解・共通行動を強化し、「全教職員で生徒を育てる」という意識を常にもつ。
- ④ メリハリのある勤務を自身で模索・構築する。

<教師の基本>

- 「師弟同行」（姿で指導） ○「率先垂範」（意欲で指導） ○「受容と毅然」（心で指導）